第3種郵便物認可　日刊スポーツ　2012年(平成24年)1月12日　木曜日

忘れない 3・11
震災から10カ月

76年「ああ宮城県」吉川団十郎がメッセージ曲

遺族が暗かったら亡くなった人浮かばれないよ

吉川団十郎は宮城県村田町の自宅で、震災一周忌法要にささげる歌「君への伝言」を録音する

死者、行方不明者を合わせて約1万9300人の大惨事となった東日本大震災は11日、発生からちょうど10カ月を迎えた。76年「ああ宮城県」のヒット曲で知られる歌手吉川団十郎(63)はこのほど、宮城県村田町の自宅で震災一周忌法要にささげる歌「君への伝言」を録音。2月上旬に発売し、震災後1年に向かう遺族らを励ますつもりだ。休止中だった陶芸家活動も昨年12月から再開。被災者の1人として、復興への歩みを少しずつ進めている。

「君への伝言」東日本大震災一周忌法要にささげる歌

作詞・作曲・歌　吉川団十郎

【1番】春なのにまだ寒い　浜辺の風よ
ふと君は立ち止まり　空を見上げる
また泣きだした　泣き虫の君
抱いてやりたいよ　けど無理さ
ほら、聴いて　鳥の歌声を
君のために　歌っているよ
【2番】若い日の僕たちは　笑ってばかり
でもたまにケンカして　意地を張る君
思い出す度　いとしさ募る
抱いてやりたいよ　けど無理さ
キラキラと　きらめくあの星
「勇気出せ」と　ウインクしてる
【3番】幸せは幸せは　感じるのです
幸せは幸せは　見えないのです
これから君は　君の力で
歩いていこうね　迷わずに
ほら、君は　とても強くなった
ウソじゃないよ　お世辞じゃないよ
ほら、君は　とても強くなった
いつもいつも　笑顔でいてね

1000円CD販売 500円を義援金に

○…新曲「君への伝言」はこれまでの音楽作品と同様に、吉川の公式ホームページ（http://ha6.seikyou.ne.jp/home/danjuro/）を通じて発売される予定。「夢を求めて」との2曲入りDVD（写真）を1000円で販売し、うち500円を被災地の義援金に回す。インターネットのダウンロードサービスも検討中。吉川以外のスタッフは、編曲担当と映像担当、妻とも子さん(54)の3人だけ。吉川は「収入が少なくて焦るのに、妻は『元気でいられるだけで幸せ』と笑ってくれる。どんなに助けられたか」と感謝した。

疑問から誕生

悲しみに暮れ、泣き続けることが、震災犠牲者への最高の供養なのか。吉川の新曲は、そんな疑問から生まれた。

「私は宮城県名取市の出身なので、たくさんの友人を津波で失った。友人の遺族を私の自宅に呼んで、話をしていると、感じることがあった。亡くなった人は、遺族が明るく元気でいてほしいと思っているんじゃないか」

震災一周忌にささげる鎮魂歌を、犠牲者から遺族へのメッセージソングにすることを発案。昨年12月から作詞、作曲を進めた。

震災で犠牲になった夫が、生き残った妻を天国から見守っているという設定。空を見上げて泣きだすことが多い妻を励まし、「君の力で　歩いていこうねいつもいつも　笑顔でいてね」と話しかける。遺族が元気になってほしいという思いから、曲調も軽快で明るく、重苦しさはない。吉川は「この歌を遺族に届けたい。大切な人を近くに感じて、少しでも心が安らげばいい。遺族が暗かったら、亡くなった人たって浮かばれないよ」と話し、犠牲者の願いを想像していた。

天から妻を見守る夫イメージ

震災後に復興祈念曲「夢を求めて」を作り始め、昨年5月に発表。被災規模の大きい宮城県の応援ソングとして、「ああ宮城県・第2章」を新たに録音。ヒット曲の歌詞に被災地の情景を加え、昨年6月に発売した。震災後の作品は今回で3曲目だが、インターネットを通じた"手売り"では大量販売ができず、歌手としての収入は多くない。陶芸家の収入も、震災後は途絶えたままだ。

陶芸家として

「震災で壊れた窯の修理が終わったので、昨年12月29日に震災後の初めての作品を50点ぐらい作った。でも数千円から数万円もするお皿や花瓶などは、震災後は1つも売れない」。金銭的に余裕がない被災者は1000円ショップに流れ、震災で多数の陶芸作品が壊れたこともあり、客足は戻らないという。「焼き物が売れて、僕がもうかる時が来れば、宮城県も復興しているはず。それまで頑張ります」。歌手兼陶芸家として、被災者の苦しみを共有している。【柴田寛人】

海岸線で行方不明者を捜索する宮城県警の機動隊員ら＝11日、宮城県気仙沼市

気仙沼で不明者集中捜索も

◆吉川団十郎（きっかわ・だんじゅうろう）本名・吉川昇（のぼる）。1948年（昭23）3月10日、宮城県名取市生まれ。歌舞伎役者市川団十郎から引用し、バンド「吉川団十郎一座」を結成。74年に自作曲「キューピーちゃん」で「ヤマハポピュラーソングコンテスト」東北大会グランプリ受賞。同年と75年に全国大会でも入賞し、76年にソロ歌手としてデビュー。シングル「ああ宮城県」が約10万枚のヒット。翌77年に芸能界引退。宮城県村田町で陶芸家や水墨画家として活動する。著書多数。家族は妻と3男。